# 志向倫理的素養を涵養するための グループ討論の実践法

関西大学 化学生命工学部 生命•生物工学科 片倉啓雄

katakura@kansai-u.ac.jp

#### 予防倫理

#### 志向倫理

- ~するべからず
- 個人の行動の是非を 教える倫理
- 前慣習レベル
- ・トップダウン
- ルールに従う
- 座学中心
- 非難する
- 妥協•二者択一

- すべきこと為したいこと
- プロ(社会人)としての 行動を考えさせる倫理
- 脱慣習レベル
- ボトムアップ
- ルールを提案する
- グループ討議
- 批判(助言)する
- 創造的第三案

志向倫理: オリジナリティ・創造性を重視する科学者・

研究者・技術者に必要な倫理

## グループディスカッションの運営のポイント

#### ● 積極的に参加させるための布石

学生: 失敗したくない・言いたくない・目立ちたくない



- たまたまの成功よりも失敗が人生に役立つ
- 自分の考えが進歩しない怖さ
- 自分に蓋をしてしまう損失
- 「いじめ」は非生産的で幼稚

#### ● 全員に議論に参加させるための工夫

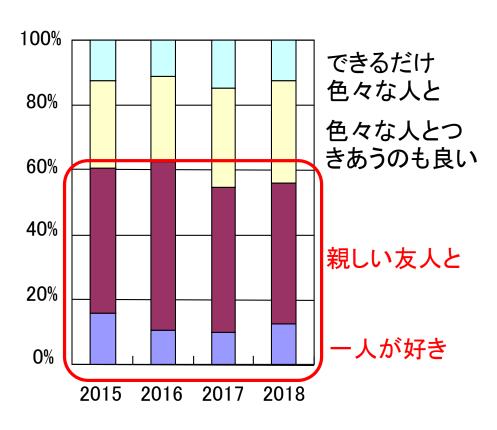
• 出向者制度 (一班8人でも活発に議論させる工夫)

#### ● 議論を進める際の留意点

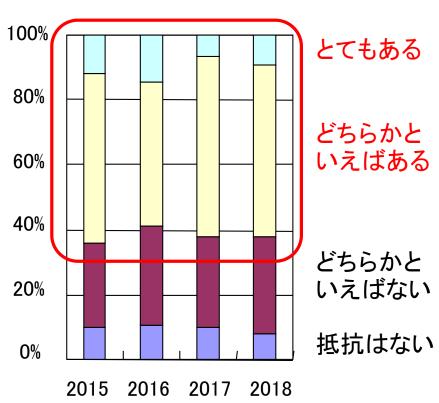
- 組織・社会として時間をかけて対応すべきこととの区別
- セブンステップガイド

#### 過半数は「他人と関わりたくない」「失敗したくない」

#### Q. 人づきあいについて



#### Q. 失敗することに抵抗は



関西大学化学生命工学部1回生に対する入学時のアンケート結果

### 失敗したくないんですが・・・

ダメです。失敗して下さい。

- 失敗しない人はいない
- 失敗したことがない人は社会で役に立たない
- 失敗したことがない = 失敗しない簡単なことしかできない
- 失敗を乗り切ったという経験値が重要
- ●「ごめんなさい」で済む学生の間に失敗の練習を

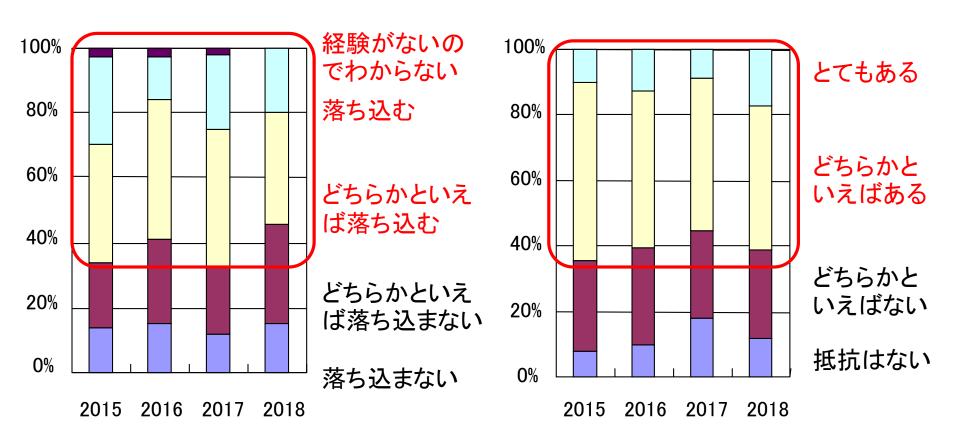
#### 悪い失敗さえしなければよい

- 前科がついてしまう失敗
- 何も学べない(原因がわからない)失敗

これ以外は全て「良い失敗」にすることができる

#### 過半数は「間違えたくない」「言いたくない」

- Q. 自分の意見が間違っている (考えが浅い)ことを指摘され、反論の余地がないとき
- Q. さほど親しくない人に自分 の意見をはっきり言うこと に抵抗が



関西大学化学生命工学部1回生に対する入学時のアンケート結果

## 間違っているといやなので・・・

ダメです。間違えて恥をかいて下さい。

- 最初から間違いのない意見・考えを持っている人はいない。
- 誰しも最初の考えは浅く、見方も狭い。
- 間違えることよりも、自分の考えが進歩しないことを 恐れよ。

様々な立場、考え方を知り、「批判してもらい、修正する」 を繰り返して完成度を高める。

## 批判と非難の違い

批判 物事に検討を加えて、判定・評価すること ある主張の限界を明らかにすること 非難 人の欠点や過失などを取り上げて責めること 主張そのものを否定すること

- 批判されてもメゲたりへコんだりすることはない
  - 最初の意見は必ず批判される(完璧な意見を言えるはずがない)
  - いちいちへコんでいては世の中やっていけない。
  - より良い意見にするために批判してもらうことは必須
  - 批判してもらったことに感謝しよう
- 非難は人間関係をこじらせることが少なくないが、 正しい批判(≒助言)は人間関係を深める。
  - 「正しい批判」ができるように練習しよう
  - •「いじめ」は自身の価値を下げる幼稚な行為

## グループディスカッションでの留意点(1)

#### 批判する側の心得

- 批判することをためらわない(間違っていることを恐れない)。 (グループディスカッションは仲良しクラブの会合ではない)
- 自己主張するためではなく、その意見をより良いものにする ために批判する。比べて判じるのが批判。

#### 批判される側の心得

- 批判されたことを感謝する。
- 批判されてもへコまない。最初の考えが浅い(思慮が足りない)のはあたりまえ。
- あなたは幼稚だ
- その考えは幼稚だ
- その考えは〇〇の場合には成立しない
- その考えは〇〇の場合には成立しないので、 こう考えてはどうか・・・

非難

非難と取る人も

批判

より良い批判

## グループディスカッションでの留意点(2)

- Q. 正解は何ですか?
- A. 正解に近づこうとする過程に意義があり、正解を出すことが目 的ではありません。考える事、視野を広げることが目的です。
  - 同じ状況はないので正解を覚えても役に立たない
  - ほんの少し状況が変わるだけで正解が異なる場合も
  - × たまたま知識があり正解した
  - × 正解することを目的にネットで調べた
  - ◎ 色々考えたがその中に正解はなかった
  - ◎ 気づかなかった点を指摘され視野が広がった
- Q. 状況が特定できないので答えられません。
- A. 足りない仮定は自分で補いましょう。
  - 実社会では仮定が全て与えられることはない (仮定が全て与えられ正解があるのは教科書と入試だけ)
  - 自分で調べる
  - 何通りか場合分けして考える

## グループディスカッションの運営のポイント

#### ● 積極的に参加させるための布石

学生: 失敗したくない・言いたくない・目立ちたくない



- たまたまの成功よりも失敗が人生に役立つ
- 自分の考えが進歩しない怖さ
- 自分に蓋をしてしまう損失
- 「いじめ」は非生産的で幼稚

#### ● 全員に議論に参加させるための工夫

• 出向者制度 (一班8人でも活発に議論させる工夫)

#### ● 議論を進める際の留意点

- 組織・社会として時間をかけて対応すべきこととの区別
- セブンステップガイド

## グループディスカッションの運営のポイント

● 積極的に参加させるための布石

学生: 失敗したくない・言いたくない・目立ちたくない



- たまたまの成功よりも失敗が人生に役立つ
- 自分の考えが進歩しない怖さ
- 自分に蓋をしてしまう損失
- 「いじめ」は非生産的で幼稚
- 全員に議論に参加させるための工夫
  - 出向者制度 (一班8人でも活発に議論させる工夫)
- 議論を進める際の留意点
  - 組織・社会として時間をかけて対応すべきこととの区別
  - セブンステップガイド

## 8人グループでの役割分担(9:00~10:30の授業の場合)

	グルーフ <sup>°</sup> 討論1	情報交換	グルーフ <sup>°</sup> 討論2	発表
	9:10~9:25	9:25~9:35	9:35~9:50	9:50 <b>~</b> 10:25
司会者	司会(全員に発言をうながす)			_
タイム キーパー	時間管理			
出向者1	自班の討論内 容をメモ	訪問先で自班の 討論内容を説明		_
出向者2		訪問先の班の討 論内容をメモ	訪問先の討論内 容を自班で説明	_
説明者1	自班の討論内 容をメモ	来訪者に自班の討論内容を説明		_
説明者2		来訪者からの情報をメモ	自班出向者に来 訪者情報を説明	_
発表者1	発表用資料作成			発表
発表者2				

## グループディスカッションの運営のポイント

#### ● 積極的に参加させるための布石

学生: 失敗したくない・言いたくない・目立ちたくない



- たまたまの成功よりも失敗が人生に役立つ
- 自分の考えが進歩しない怖さ
- 自分に蓋をしてしまう損失
- 「いじめ」は非生産的で幼稚

#### ● 全員に議論に参加させるための工夫

• 出向者制度 (一班8人でも活発に議論させる工夫)

#### ● 議論を進める際の留意点

- 組織・社会として時間をかけて対応すべきこととの区別
- セブンステップガイド

## グループディスカッションでの留意点(3)

- ●組織・社会として時間をかけて対応すべきことと、当事者自身が 現状においてどう行動するかを明確に分けて議論する。
  - ボスの態度、行政の怠慢、法の不備を嘆くことが目的ではない
  - その状況で何とかするにはどうすれば良いかを考える

------(技術者倫理のGDの場合) ---

- あなた自身に何ができるか考えて下さい。
  - あなたの権限と能力の範囲でできることをまず考える。
  - 権限を超える範囲なら、誰にどう提案・説得するかを考える。
- あなた自身が主体になって実行できる案ですか?
- 発生する費用は、誰とどのように交渉・説得して調達しますか?
- 組織の外と折衝する場合、誰に了解を得ますか?
- 議論を深める必要はあるが、意見をまとめる必要はありません。
  - 限られた情報で結論を出すことは不可能
  - 複数の意見を併記してよい
  - 自分で状況設定を何通りか考えることも必要

## セブン・ステップ・ガイド

- Step 1 問題を言葉にしてみる
- Step 2 事実関係を明確にする
- Step 3 関連する要素, 人物, 法律などを挙げる
- Step 4 とりうる行動を具体的に考え列挙する
- Step 5 行動案を検討する
- Step 6 意思決定をする
- Step 71~6のステップを再検討する

イリノイエ科大学マイケル・デイビス教授が開発した, 倫理的問題状況の分析・意思決定のための代表的モデル

## Step 1 問題を言葉にしてみる

- 何に困っているのか、言葉にしてみる
- 複合的な問題を単純に分解してみる
- 言葉で表現することにより、自分自身で問題を意識 する。
- 誰にどんな不都合・不利益が生じるのか書き出す。
- 問題を複雑に捉えるのではなく、要素に分解してシンプルに捉える。
- 一つの文では一つの問題を扱う(一文一意)。

## Step 2 事実関係を明確にし、問題を特定する

- 問題に関連する事実を言葉にする
  - 事実、伝聞、推定を明確に区別する 伝聞の場合、確度を確認する 推定の場合、根拠を明確にする
  - はっきりしている事実と予測される可能性とを区別 可能性については確率を意識する
  - 十分な情報に基づく要素と情報収集が必要な要素を区別
- 問題を引き起こしている要因を考えてみる。
  - 技術的要因か、経済的要因か、人的・組織的要因か、法・制度上の要因か
  - はっきりしない部分は調べる
  - 調べてもわからない場合は何通りか仮定してみる
  - 自分でその要因を排除できる(権限がある)か,他の人(組織)が関わるべきか、組織を超える問題かを区別する

## Step 3 関連する要素, 人物, 法律等を挙げる

- ●誰が関わってくるのか、利害関係者を明らかにする
  - 製品のライフサイクル(製造、輸送、保管、販売、使用、故障、廃棄)を通して考える。
  - 場合によっては直接の利害関係者の周囲にいる人も
- 関連する法令、倫理綱領等について列挙する
  - 直接関係するものがなければ、類似の状況に適用できる法律・条例・基準の趣旨(序文)を参照する。
- ●どのような価値問題や制約が関わっているのか考える

時間的制約:開発期間、納期、借入金の返済期限、商機・・・

経済的制約:原材料費、人件費、金利、保管料・・・

✓ すべての責任を引き受けようとするのではなく,誰に対して,どのような責任を負っているのか意識する

## Step 4 とりうる行動を具体的に考え列挙する

- 評価は後回しにして思いつく限りの行動案を挙げる
  - 抽象的な表現ではなく、具体的な行動案で 「周囲と相談する」ではなく「〇〇さんに△△について 確認する(依頼する)」
  - 部署や組織としての行動案を述べる場合、多くの場合をあなたには権限はないので、誰にどう働きかけるのかを具体的に述べる
- 列挙された対応策がどのような価値を守り、どのような価値を犠牲にするのか考える
- できるだけ多くの価値を守れる対応策を考える
  - どちらを取るかではなく、価値対立そのものを解消する策がないか検討する。(創造的第三案)

## Step 5 行動案の検討

#### 倫理的に許容できる行動案に絞る

- 危害テスト
  - 他の行動案と比べて危害の発生が少ないか。(その行動案で新たな不都合が発生しないかも含めて考える)
- 可逆性テスト
  - その行動の影響を受ける立場に立った時にも同意できるか。(影響を受ける立場は様々であることに注意)(例 不正の影響は部署、組織全体、関連会社・団体・・・にも)
- 世間体テスト
  - 対応策が公になっても問題ないか。家族、同僚、友人、上司に知られた時は?マスメディアに報道された時は?
- 普遍化テスト
  - あらゆる人が似た状況で同じ対応をとることを容認できるか。 (「この場合に限り」は多くの場合、普遍化できない)

## Step 6 意思決定する

- ●対応策を決定し、その理由を明確にする。
- ●採用した対応策で解決できる問題、解決できない 問題を明らかにする。

- ✓ 問題を全て解決できない場合、優先順位を意識して意思決定し、より望ましい判断を行う。
- ✓ Step4と併せ、解決すべき問題(課題)の明確化を 繰り返し考える。

## Step 7 Step1~6のプロセスを再検討

- 選択の妥当性を再検討し、見落としがないかどうかを改めてチェックする。
- 全ての責任を引き受けようとするのではなく、自分は誰 に対してどのような責任を負っているのかを意識する。
- ◆ 社会・組織としての課題(実現すべき状況や解決すべき 社会問題)とあなたの具体的行動とを区別する。
- 今、自分がなすべきことと、今後、望まれる行動とを区別する。
- 類似の問題が発生を防ぐための改善案を挙げる

社会システムの不備や上層部の怠慢・不理解を嘆くのではなく、今、自分たちが何をするべきかを考える。

## 線引き法(1)

- 類似のケースをいくつか考え、そのうちの2つは、明らかに倫理的に問題があるケースと問題がないケースにしておく。
- 2. 倫理的な問題が大きいものから順に並べ、問題となるケースがどこに位置するかを考える。
- 3. 周囲の事例と比べて、そのケースが社会的に受け入れ可能であるかを判断する。

ある会社で、納品された品物の検品を担当しているA氏の趣味はゴルフである。休日にゴルフの練習場からの帰りに喫茶店に入ったら、隣のテーブルに偶然、買い物帰りのB氏がいた。B氏は普段からA氏の会社に物品を納入している業者で、やはりゴルフが好きだということで、しばらくゴルフ談義に花を咲かせた。喫茶店を出るとき、B氏はA氏のコーヒー代をまとめて払い、店から領収書をもらった。

## 線引き法(2)

- ① 便宜を図る見返りとして現金をもらった。
- ② 便宜を期待して料亭で接待してくれた。
- ③ 昼食をごちそうになった。
- ④ 事務所で出前のコーヒーを取ってくれた。 プライベートでコーヒーをご馳走になった。
- ⑤ 事務所でお茶をごちそうになった。
- ⑥ ハンガーに掛けていたコートをもってきてくれた。
- 1. あなたが民間企業に勤務している場合
- 2. あなたが公務員の場合
- 3. あなたは公務員でゴルフはプロ級。スイングのアドバイスをし、 感激したB氏はポケットマネーでコーヒー代を払った。
- 4. あなたは民間企業に勤務しており、製品の安全の鍵を握る部品 の調達・検査を担当している

## 参考資料

- 志向倫理的な課題の例
  - 4年生対象の安全チェック演習
  - PRTR法に関する課題とGD
  - 研究者にとってのmeaning
- 研究不正の例
  - 大阪府大での院生の実験データねつ造
  - 大阪大学での教授によるデータねつ造事件
- 削除された過去のWebページの検索・閲覧
  - https://archive.org/web/
  - http://warp.da.ndl.go.jp/

## 4年生対象の安全チェック演習

目的:自主管理のため研究室の実情に合った安全チェックリスト を作成、試行、評価、改良する(PDCAサイクルの実践)

グループ分け 研究室単位

1週目 授業

- 授業 ・趣旨と危険予知のポイントを説明
  - •安全チェックリスト(共通様式)の意図を講義

宿題

- 自研究室を巡視させる
  - 安全チェックリストをカスタマイズさせる
  - 他研究室を巡視させる

2週目 授

授業 ・他研究室の良い点を3つ報告させる

宿題

- 安全チェックリストの改善
- ・自研究室の改善

3週目 授業 ●自研究室の<u>改善点を報告</u>させる

#### PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)法

環境汚染物質排出移動登録。特定化学物質の環境への排出量の 把握等及び管理の改善の促進に関する法律。

- •有害性が疑われる物質の環境放出量を集計・公表する
- ・回収を促し、害を未然に防ぐ。
- 各事業所は使用量、廃棄量を記録し報告する義務。

試験 PRTR法の趣旨を簡潔に説明した上で、大学で該当する物質を扱う場合の留意点を述べよ。



課題+グループディスカッション

- •PRTR法の趣旨、これに対する企業の活動を調べなさい。
- ・研究室でどのようなルール・心がけが必要か議論しなさい。

## 研究者のMeaningを考えさせる

- あなたが仕事で重視するものは何ですか
- PERMAを説明して分類させる

Positive Emotion 職場の雰囲気

アフターファイブ

Engagement 研究に没頭できる

Relationship 共同研究

チームワーク

Meaning 研究の実用化・社会実装

社会の安全安心への貢献

教え子の成長

Achievement IFが高い雑誌に掲載される

ポジションを得る

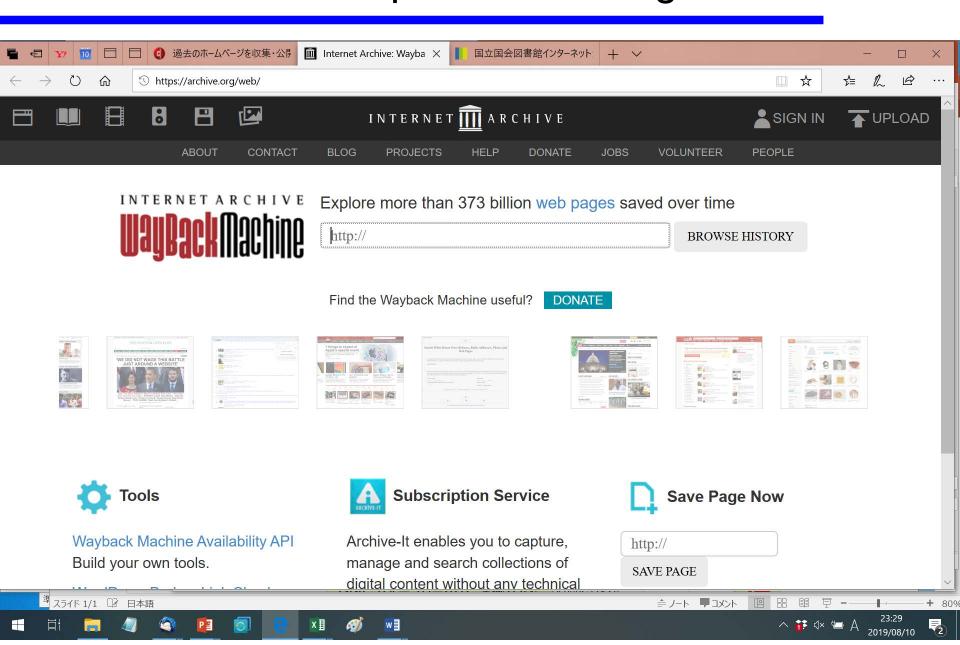
外部資金の獲得

研究・開発が完成する

## 参考資料

- 志向倫理的な課題の例
  - 4年生対象の安全チェック演習
  - PRTR法に関する課題とGD
  - 研究者にとってのmeaning
- 研究不正の例
  - 大阪府大での院生の実験データねつ造
  - 大阪大学での教授によるデータねつ造事件
- 削除された過去のWebページの検索・閲覧
  - https://archive.org/web/
  - http://warp.da.ndl.go.jp/

## Webアーカイブ1(https://archive.org/web/)



## Webアーカイブ2(http://warp.da.ndl.go.jp/)



## アイスブレイク討論のテーマ:どこでもドア

どこでもドアを一つだけ設置できる。何度でも 往復できるが、一度決めた行き先は変えられ ない。どことどこを往復できるようにしますか?

未来に帰るドラえもんが、人類のために、と どこでもドアを500個くれた。どのように分配 し、どう管理しますか?

皆がどこでもドアを持っていたら何が起き、 どんなルールが必要になりますか? 一つだけ設置できる。何度でも往復できるが、行き先は 変えられない。どことどこを往復できるようにしますか?

- 家と大学
- 東京一大阪
- 東京ーニューヨーク

ドアを500個くれた。どのように分配し、どう管理?

- 国別に人口で比例配分
- 各国に1つ、他は国際機関で管理
- 国際機関が救助用にのみ使用
- 全て捨てる

#### 皆がどこでもドアを持っていたら?

- 出口はパブリックスペースに限定する
- 危険な場所につながないルールが必要
- 世界恐慌が起きる
- 失業した人を管理者として雇用する

## 模擬事例

教授に組換え大腸菌の培養液が入ったフラスコを洗っておいて、と言われた。蒸気滅菌器は現在使用中で、次に使えるのは1時間後。30分後にはバイトの予定があるので、と言うと教授は「実質的に無害だからそのまま流して洗えば間に合う」という。

あなたは? A. そのまま流して洗う。

- B. 滅菌するためバイトに遅れて行く。
- C. それ以外(具体的に)。

Cの例 C

- ○他の学生に頼む
- ○翌朝滅菌してから洗う
- ○エタノールで滅菌してから洗う

△教授を説得する

- 教授が聞く耳持たない場合は?
- 高圧的で言える雰囲気ではない場合は?

△教授の行為を告発する

どこに?(そもそもフラスコはどうしますか)

創造的第三案